

平成 30 年度の年間の活動

1. 平成 30 年度 ちはら台かずさの杜管理組合活動報告。

1) 管理組合活動内容

(1) 植栽管理講習会

数年前から講習会を開いてほしいという要望が出されていましたが、この間講習場所を設定できず実施できませんでした。

集会所が建設されたので、集会所を中心に実施することが出来ました。

当日(12月3日)はゴミゼロの終了後でしたが、40名余の皆さんに参加して頂き、1時間半にわたる講師の説明に、皆さんから多くの意見質問が出され、有意義な講習会でした。

(2) 市原市支給の植樹苗木 214 本受ける

市は毎年、町内会等が管理する樹木を配布しています。

当管理組合では、平成 26 年から毎年 200 本前後の樹木を受け、クルドサックを中心に植樹しています。

当団地としては大変助かっています。

(3) 市原市道路愛護推進事業に参加しています

かずさの杜の皆さん有志の方(約 60 名)に賛同して頂き、団体名“かずさの杜ベルモード”として登録し、団地東側バス通り(市道 88 号)の 38 か所の高木が植わっていた場所に、年 2 回(春、夏)、市から草花の苗をいただき道路美化事業の一環として、街の美化に協力しています。

年間を通して、水やり、除草等、皆さんに協力して頂き実施しています。

※ベルモードとは、イタリア語で“素敵なお道”という意味です。

(4) その他

- 管理組合理事と会員有志に参加して頂き中央道南入口の草取り実施 2 回
- 管理組合理事と会員有志にて中央道高木の根元にタイムを植え付ける
- 法面、中央道高木の根元に芝桜の補植
- 足元ライトの点検

(5) 平成30年度活動詳細記録

- H30.3.24 第8回定期総会(出席者36名、委任状236名)
" まちなみ賞受賞記念パーティー実施100名以上参加
(集会所完成祝賀会 同時開催)
- 4.23 第1回理事会
・役員体制
・30年度橋本屋造園(株)との契約、確認
・組合独自の草取りについて
・その他
- 5.15 第1回業者による草取り、芝刈り等に入る(5/15~5/22)
20 管理組合ニュース25号発行
- 6.3 第2回理事会
・植栽管理講習会について
・橋本屋造園(株)会長との会談(一年間の方針等)
・理事の活動費の支給について
・その他
- 6.18 集会所、芝刈り、遊歩道脇の草刈り実施
- 7.1 第2回業者による草取り、芝刈り等(7/1~7/18)
2 第13回住まいまちなみコンクールに参加(理事3名、温井先生)
- 8.18 理事による中央道の草取り実施
- 9.3 中央道高木の足元にタイム草を植える(理事で実施)
8 第3回理事会
・理事会独自の草取り
・年末クリーン作戦
・その他
- 9 理事・組合員で南入口草取り実施(9名参加)
- 10.11 第3回業者による草取り、芝刈り等(10/11~10/20)
- 11.5 管理組合ニュース26号発行
11 第4回理事会
・市への申請樹木について
・次年度役員体制
・中間決算報告
・その他
- 12 市から支給される樹木の申請(255本)
- 17 スマートコモン自治会・管理組合三役と、かずさの杜自治会・管理組合三役と懇談会
- 12.2 秋のゴミゼロ実施(自治会合同)(180世帯、約300名参加)
" 「植栽管理講習会」開催する(約40名参加)
- H31.1.20 第5回理事会
・総会議案書検討、確認
・新年度に向けての大まかな取り組みについて
・景観規制の再確認のための勉強会
- 1月中 ゴミストッカー修理
2.9 管理組合ニュース27号発行

2) 管理サポート：管理組合の活動補助（プレイスメイキング研究所）

- 理事会出席 4回
- 総会出席
- まちなみ賞事務局への計画書・報告書作成・提出
- 総会資料、管理組合費の請求書作成
- 管理組合名簿の更新、管理
- その他、電話・FAX・サイボーズ等でアドバイス多数

受賞を契機に新たに取り組んでいること

1. 集会所の活用

これまでは、近隣の小学校を借りて、総会を行っていたが、集会所を活用した総会をはじめて開催する事ができました。平成29年3月24日(日)総会当日に会場から役員への立候補者が出るなど、これまでの活動の成果を感じました。



『かずさの杜集会所』



『かずさの杜集会所』を活用した総会！

2. コンクール受賞記念パーティ

平成29年3月24日(日)総会後の、来賓をお招きして、住民が主体となった受賞記念パーティを行いました。

集会所の建設だけでなく、まちづくりに関わってくださったみなさまや、維持管理に継続的に関わってくださっているかたをお招きで、まちづくりからまち育てへのバトンが渡される場面に立ち会えたと思います。



(参加者全員で「ふるさと」を歌う)

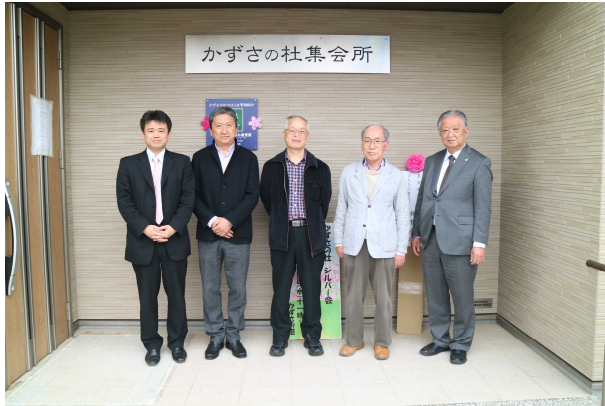


(まちなみコンクール受賞記念撮影)

3. 住まいのまちなみコンクール受賞を受けて

一つの方角に向かって、多くの方々の協力の基、集会所の建設を成果として見えるようになりました。この集会所の維持管理を通じ、自治会と管理組合が役割を分担して、居住者と所有者が一つになって、まちの価値を維持、上昇させていく事ができると考えます。

また、生みの親としてのランドスケープして下さった、二瓶氏、ハウスメーカーの皆様や今後育ての親として引き継ぐ、自治会、管理組合の協力なくして、良いまちは育たないことを実感しております。



(受賞記念名盤前での記念撮影)

左から 温井氏 (管理サポート)
二瓶氏 (ランドスケープ)
永田氏 (自治会長)
小松氏 (管理組合: 理事長)
原山氏 (積水ハウス)



(受賞記念の名盤)

調査検討費の使途

- 春と年末の大掃除参加者へ (粗品)
- ライトアップ活動 (材料費含む)
- まちなみ賞 受賞記念名盤作成
- ニュース等 (320部×3回) 印刷費

近い将来取り組まなければならない課題

集会所の完成に伴い、利用規定の制定、貸出し予約の方法、清掃活動等の利用後のマナーなどについて建設委員会のメンバーと管理組合、自治会が協力して、取り組む体制づくりに取り組んでいます。

新しい、役員を迎えていく方法など、どの組織でも苦慮している事かと思いますが、まち育て継続していきたいと思えます。

本年、受賞から3年目となりますが、今後とも、情報交換等を通じ、御支援いただきますようお願い申し上げます。本当にありがとうございました。